

文化財修復処置に関するワークショップ

- ナノセルロースの利用について 実技フォローアップ -

独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 保存科学研究センター
独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター

開催日 : 令和5年10月11日(水) 10:00-17:00
会場 : 東京文化財研究所 地下会議室
募集人数 : 15名程度

開催趣旨

文化財保存修復分野において、透明で天然由来の材料としてナノセルロースの利用が近年検討されています。

昨年度、フランスよりナノセルロースの文化財修復適用に関する第一人者であるレミー・ドレフュス=ドゥセーニュ Remy Dreyfuss-Deseigne 氏をお招きして、ワークショップを開催しました。

数多くの方から参加のご希望を頂きましたが、席数が限られており、残念ながら座学のみのお受講になられた方もいらっしゃいました。文化財修復では、実習はとても重要であるため、その方達への実技に関するフォローアップ研修の開催を検討しておりましたが、この度、氏の再来日に合わせ、実習のみの一日研修を企画いたしました。

昨年度、座学の研修を受けられた方を対象に、ナノセルロースフィルム作成と、作品への適用の実習を行います。

内容

10:00-12:00

- ナノセルロースゲル/フィルムの利用方法と製造方法について (講義)
- 工業用ナノセルロースの観察
- ナノセルロースの作製方法
- ナノコンポジットの作製方法

12:00-13:00 昼食

13:00-17:00

- ナノセルロース懸濁液を利用した紙材料の強化
- セルロースナノクリスタルによるトレーシングペーパーの補修
- 試験資料の観察
- 透明／半透明資料へのナノセルロースフィルムの適用
- 質疑応答

お申し込み・お問い合わせ

参加希望の方は、8月末日までにメールにて下記までご連絡ください。

独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンター

作品活用促進グループ（担当：鳥海）

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア2階

Tel: +81-(0)3-6910-0499 Fax: +81-(0)3-6910-0756

E-mail: collections@artmuseums.go.jp